



高輪だより

平成30年度12月号
港区立高輪幼稚園
園長 柿沼 敦子

絵本に親しむ

高輪幼稚園長 柿沼 敦子

10月27日から11月9日まで読書週間でした。2018年の読書週間の標語は「ホット一息、本と一息」でした。

皆様のご家庭では、お子さんと一緒に絵本をどれくらい読んでいますか。年中組の絵本の貸し出しも始まり、年長児と年中児は一週間に一度はお家の方に読んでいただく時間があると思います。子どもはお父さんやお母さんに絵本を読んでもらう、そのことを何よりも喜びとします。特別な抑揚や節まわしなどは必要ないそうです。ご自身も一緒に楽しめばそれが一番良いということです。小さい子は膝に抱いて、大きくなったら隣に座って温もりを感じさせながら、より良いそうです。字が読めるようになって子どもが自分で読むこともよいのですが、小学校3～4年生くらいまではお家の方が読み聞かせてあげることが大切だそうです。普段忙しくてなかなかお子さんとの時間がもてないでいるお家の方はとくに良いかもしれませんね。お父さんももちろん読み聞かせをしてあげてください。

『寝る前に絵本などをよく読み聞かせました。いそがしく毎日を過ごしていた私は、一日のうちで唯一子どもとゆっくりかかわる時間として大切にしました。今考えると至福の時間でした。様々な絵本を楽しみました。あるときは昔話をしっかりと、またあるときは落語の本・・・大笑いしながら子どもたちと眠りについたことも懐かしい思い出です。子どもたちもその時のことや絵本のことをよく覚えていて共通の思い出となっています。』コラムの中に見つけました。

良い絵本と出会えると美しいものへの感性が磨かれ、言葉を育み、本に親しむことができます。日本の絵本も外国の絵本もすばらしい絵本が数多くあります。質の高い絵本を選んであげることが大切です。お家の方も絵本の魅力や良さを感じて大いに楽しんでいただきたいと思います。

寒さが増し、冬がやって来ました。読書週間から読書習慣へ。ホットひと息ついて、お子さんと一緒に絵本を楽しみ、親子で心をぼかぼかにしてください。

3歳児 芝公園で親子遠足



4歳児 高松中学校で園外活動



5歳児 高松中學生と交流

